

国際交流基金アジアセンター主催、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）共催
「響きあうアジア 2019」サッカー交流事業

U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs U-18 東北選抜 国際親善試合「JapaFunCup」詳細・選抜選手発表

～ Little Glee Monster の「I BELIEVE」がテーマソングに！ ～

国際交流基金アジアセンターは本日、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）との共催、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）の後援で、6月22日（土）に開催する、U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs U-18 東北選抜の国際親善試合「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」の詳細及び東南アジアチームの選抜選手を発表しました。

JapaFunCup では、東南アジア 11 か国から選抜された U-18 選手が、アジアで最も多様なチーム「ASIAN ELEVEN」を結成、東北各県から選抜される U-18 選抜選手と対決します。「ASIAN ELEVEN」監督は、ジュビロ磐田、清水エスパルスで活躍した元 Jリーグ選手、古賀琢磨氏。東南アジア各国でアンダー世代を率いた実績が評価されています。記者会見で古賀監督は、「未来のアジア、世界のサッカーを担って羽ばたく選手が育つことを願っています」と語りました。

そして、日本と東南アジアサッカーの若い力を育成するこの事業には、強力なサポーターが顔を揃えます。テーマソング「I BELIEVE」を歌うのは、ボーカルグループとして圧倒的な歌唱力で躍進している Little Glee Monster。またユニフォームデザインは、Kawaii 文化を始め日本のポップカルチャーを世界に発信されている増田セバスチャン氏が手掛けました。

「ASIAN ELEVEN」は、福島県での試合の後、今年 7 月に、ベトナムのハノイでも国際親善試合開催が予定されています。国際交流基金アジアセンターは、サッカーを通じて日本と東南アジアの文化交流を推進していきます。



開催スタジアム：Jヴィレッジ（福島県）

【国際親善試合「JapaFunCup」開催概要】

日時：2019年6月22日（土）
14：00（キックオフ予定）
会場：Jヴィレッジ スタジアム
所在地：福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森 8

【特設ページ】

<https://asian-eleven.jfac.jp>



ASIAN
ELEVEN

増田セバスチャン氏デザインによる「ASIAN ELEVEN」ユニフォーム及びロゴ

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）
川口、矢島、多田、友廣、渡辺
Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com


【「ASIAN ELEVEN」選手一覧】 *現在選考中のため、一部の選手情報となります。

写真	フルネーム	国籍	ポジション	生年月日	身長 cm/ 体重 kg	所属
	エムディ アイゼン エムディ アイマン	ブルネイ	サイドバック	2002/2/2	169/55	Brunei National Academy U-18
11歳でサッカーの才能を見出され、2015年にはブルネイ・スポーツ・スクールに選抜。数年後、ブルネイサッカー協会全国エリート・ユース・サッカー発展計画に参加するメンバーとして選ばれた。今シーズン、ブルネイ・プレミアリーグ（ナショナルリーグ2部）でゴールを決めている。足が速く、俊敏な動きを強みとする。スポーツマンシップの高さ、そして積極的で献身的なプレーも魅力である。						
	ムハマド スハーディ	ブルネイ	サイド ミッドフィールド	2001/5/10	165/50	Brunei National Academy U-19
14歳の時にポテンシャルが注目され、ブルネイ・スポーツ・スクールへの参加をオファーされた。2017年、ブルネイサッカー協会全国エリート・ユース・サッカー開発計画のメンバーに選出され、現在も所属中。左利きとしての魅力だけでなく、明るい性格や品行方正な態度、そして機転が利くといった長所も特徴。						
	ナバ ソエス	カンボジア	サイドバック	2001/2/13	176/60	Boeung Ket Football Club
チームの良きキャプテンであり、強いリーダーシップを持つ。右サイドバックと左サイドバック両方でプレーできる器用な選手。AFF（ASEANサッカー連盟）、AFC（アジアサッカー連盟）U-16選手権（日本でキャンプを実施）やU-19選手権に代表選手として選抜。既にカンボジアの2部リーグでプレーし、国内の主要大会であるフン・セン・カップでもプレー。リーグではディフェンダーながら10得点を獲得。						
	ライ リーフェン	カンボジア	サイドバック	2002/10/16	160/53	U18 Cambodia National Academy
小柄だが俊敏で、ディフェンス、サイドの攻撃を得意とする。利き足は右。技術力が高く、U-18カンボジア選抜の同ポジションでは抜きんでた才能の持ち主。クロス、切り返し、タイミングの良いパスを武器とし、左サイドでのカウンターアタックやフロントプレーヤーへのアシストなどチャンスメーカーとしての才能も持つ。スタミナと身体能力に優れ、フルタイムで能力を発揮できる。規律を重んじるプレー・スタイルで、責任感が強い。サッカーに対してとても情熱があり、将来、プロサッカー選手になるという強い意志がある。						
	モウジーニョ デリマ	東ティモール	サイド ミッドフィールド	2002/6/26	165/60	SLB Laulara
2011年、全く無名だった時、基礎技術習得のために合同練習へ参加し、その場でその豊かな才能が認められた。高いスキルとトレーニング中に見せるアクロバティックな身体能力が認められ、10代前半で名門クラブ SLB Laulara にてプレーを開始。同時に、U-12から現在まで、東ティモール代表チームの選手として選出され続けている。						
	グマリオ モレイラ	東ティモール	サイド ミッドフィールド	2001/10/18	175/62	Boavista FC
2010年、基礎技術習得のために合同練習へ参加、その人柄の良さ、サッカーインテリジェンス、そしてその才能をコーチに見出され、注目を集める。その後も高いパフォーマンスと技術により、10代前半で名門クラブ Boavista FC に参加。U-12から現在まで、東ティモール代表チームの選手として選出され続けている。						

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

	リッキー ラマダーニ	インドネシア	センターバック	2001/11/21	179/70	Persebaya Surabaya FC U-19	背が高く、体の大きさが特徴的な選手。卓越したボディバランスと空中戦での高さを誇る。国内の主要大会において6ゴールを決め、得点王となった。後列から攻めを仕掛ける攻撃にも参加できるディフェンダーとして、Persebaya Surabaya FCでのプロ昇格候補生として強い期待が寄せられる。
	アーディ モラナ	インドネシア	攻撃的 ミッドフィールド	2001/2/25	170/60	Persib Bandung U-17	高いサッカーインテリジェンスを持ち、ゲームを読む能力、ゲームのリズムを感じる力、ポジショニング能力、突破力、判断力に長けたオールラウンドな選手。14歳の頃から才能が開花し、2018年のインドネシアU-16国内主要大会で、最優秀選手に選ばれた。Persib Bandungでのプロ昇格候補生として強い期待が寄せられる。
	ハリス アフカール	マレーシア	ボランチ	2002/6/22	175/70	Akademi Bolasepak Negara Mokhtar Dahari	テクニックに長け、知性のあるプレーが特徴。センターポジションでのプレーが得意で、空中戦や1対1に強く、攻撃も守備もできる。俊足ではないが、ピッチの上では献身的にプレーをし、常に全力で向き合う気持ちのこもった姿勢が評価されている。
	アリ スカーリ	マレーシア	センターバック	2002/5/30	176/70	Akademi Bolasepak Negara Mokhtar Dahari	フィールドのオン・オフを問わずとも規律高く、よく走り、リーダーとしても適性がある。品行方正であり、センターバックとして戦術的にも、精神的にもチームへの貢献度が高い。1対1に強く、右足でのプレーが得意で、ボールの扱いも冷静かつ技術的にも長けており、試合を読む能力も高い。
	ムハメド ズルキーフリ	シンガポール	フォワード	2002/11/10	160/52.5	Hougang United Football Club U18	技術力が高く、素早い動きが持ち味のアタッカー。小柄ながら、ディフェンダーに自信をもって挑む。ピッチ外でのリーダーシップや規律の高さでも評価を得ている。ナショナル・ユースチームでは上の年代とプレーをしており、サッカーでのキャリアにおいて、素晴らしい潜在能力を持つ選手である。
	ムハメド カリム	シンガポール	ボランチ	2001/6/17	172/59	Hougang United Football Club U18	高い技術とサッカーインテリジェンスを持ち、ミッドフィルダーとしてゲームの組み立てと、それを可能にするボールの扱いに長けた選手。また、攻撃をサポートするためにゲームの動きをよく読み、果敢なオフザボールの動きを見せ、チームの攻撃に多彩なバリエーションを加えることができる。
	チャナロング プロムスリカエウ	タイ	攻撃的 ミッドフィールド	2001/4/17	171/60	Chonburi FC	タイ・リーグ、Chonburi FCの最年少のプロプレーヤー。パスが上手で賢い選手。体は小さいが俊敏に動き、試合では常に全力を尽くす。U-17とU-19代表にも選抜。ゲームメイクが巧みで、アシストはもちろん、自身でもゴールを決める。
	ナッチャ プロムソムブー	タイ	ボランチ	2001/2/8	175/56	Pattana FC	パスとシュートを得意とし、高い技術を誇る。ロングボールもショートパスもこなし、ボールキープに長ける。ハードワークもでき、フィールド上ではファイターのよう勝利を目指して戦う意志を90分間見せる選手。U-17とU-19のナショナルチームで活躍中。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

【「ASIAN ELEVEN」監督】



古賀琢磨（サッカー指導者）

「ASIAN ELEVEN」監督

東南アジアの選手は身体能力、基礎技術のレベルが高く、伸びしろを持った選手が沢山います。一方で時々クリエイティブなプレーを見せてくれることもあり、驚かされます。今回のU-18 代表チームは、自分にとっても大きな挑戦です。短期間でチームをまとめ、力を最大限に発揮できるよう最善を尽くし、今後の東南アジアサッカーの布石となるようなものを残したいと思います。

プロフィール：静岡県出身。順天堂大学卒業後、ヤマハ発動機サッカー部（現ジュビロ磐田）を経てジュビロ磐田、清水エスパルス、セレッソ大阪で選手として活躍。引退後は、桃山学院大学サッカー部コーチ、セレッソ大阪 U-15 監督、セレッソ大阪西 U-15 監督などに就任。2011 年よりシンガポール、東ティモール、上海などでアンダー世代の監督を歴任。現在、国際交流基金アジアセンターと JFA の共催事業にて、ミャンマーサッカー連盟マンダレーアカデミー監督として指導中。ミャンマーナショナルチーム U-15 代表監督も兼務。

【「ASIAN ELEVEN」サポーター コメント】



Little Glee Monster（ボーカルグループ）

【「ASIAN ELEVEN」テーマソング提供】

国境を越えてサッカーで東南アジアと日本をつなぐ「ASIAN ELEVEN」、「JapaFunCup」のコンセプトにとっても共感し、「歌で人をつなぐ」私たちも刺激をもらっています。特にサッカーは全国高校サッカー選手権大会の応援歌を担当させていただいたこともあり、ご縁を感じています。選手のみみなさんが世界へ羽ばたくように、応援しています。

プロフィール：力強い歌声と高度なアカペラをも歌いこなす透き通ったハーモニーを武器に、2014 年 10 月 29 日「放課後ハイファイブ」でメジャーデビュー。2017 年には世界的アーティストの Earth, Wind & Fire や Ariana Grande のジャパン公演でサポートアクトを務め、NHK 紅白歌合戦への初出場を果たした。2018 年には横浜アリーナ、大阪城ホールにて初のアリーナツアーを開催し、この年の NHK 紅白歌合戦にも出場。2019 年 1 月リリースの 4th アルバム「FLAVA」は、自身初となるオリコンウィークリーチャート 1 位を獲得した。



増田セバスチャン（アートディレクター/アーティスト）

【「ASIAN ELEVEN」ユニフォームデザイン】

「ASIAN ELEVEN」の「<国境・人種・性別・年齢を飛び越えたカラフルな精神性・強さ・アツさ>とチームが一丸となれるように「<世界という大海を渡る 1 つの生命体>」をユニフォームでデザインしました。ロゴは丸をモチーフにし、人・太陽・サッカーボールを感じさせるデザインにしています。選手の皆さんが世界中で情熱的なプレーをしてくれることを願っています！

プロフィール：第 16 回文化庁文化交流使、ニューヨーク大学客員研究員、京都造形芸術大学客員教授。演劇・現代美術の世界で活動した後、1995 年にショップ「6% DOKIDOKI」を原宿にオープン。きゃりーぱみゅぱみゅ『PONPONPON』MV 美術、「KAWAII MONSTER CAFE」のプロデュースなど、原宿の Kawaii 文化をコンテクスに活動。2014 年よりニューヨークを中心に個展を開催。2020 年に向けたアートプロジェクト「TIME AFTER TIME CAPSULE」を世界 10 都市で展開中。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



【公益財団法人日本サッカー協会会長 田嶋幸三】コメント

このような大会を開催できることを大変嬉しく思います。アジアの中での競争力の高まりが、日本サッカー界にとっても大きな刺激となり、またアジアが世界と伍していくためにも必要不可欠です。東南アジアは日本にとって地理的にも近く、親しみのある地域です。参加されるみなさんが J ヴェルデジに集まり、多様な価値観やバックグラウンドを持つ人々との交流によって、様々な発見や、相互成長が促されることを期待しています。

プロフィール： 熊本県出身。浦和市立南高校 3 年時に高校選手権優勝。筑波大学在学時、大学選抜の日韓戦出場をきっかけに、日本代表に選出される。古河電気工業サッカー部（現ジェフユナイテッド市原・千葉）にて選手として活躍後、2001 年 U-17 日本代表チームの監督を務め、FIFA U-17 サッカー世界選手権大会に出場。アジアサッカー連盟理事、FIFA 理事/カOUNシルメンバーなどを歴任し、2016 年 3 月 JFA 会長に就任。公益財団法人日本オリンピック委員会の常務理事も務める。



【国際交流基金理事長 安藤裕康】コメント

国際交流基金アジアセンターでは 2014 年の設立以来、アジアに共に生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指し、“相互交流”を大切にきた事業を展開してまいりました。これまで実施してきた、東南アジア諸国と対等の立場に立ち、各国のアイデンティティを尊重し、多様性の中で調和と融合を目指してきた事業の成果として、今年、「響きあうアジア 2019」を実施いたします。この中でも、このサッカー事業「ASIAN ELEVEN」は、東南アジア、日本共に多くの人に愛されるスポーツをテーマにしています。「ASIAN ELEVEN」の活動が、国際社会での日本のプレゼンス向上や日本社会における多文化共生促進の一助になればと願っております。

プロフィール： 神奈川県出身。東京大学卒業後、1970 年外務省入省。1986 年南東アジア第二課長、1996 年内閣総理大臣秘書官、1998 年アジア局審議官。その後在米国日本国大使館公使（特命全権）、外務省中東アフリカ局長、在ニューヨーク日本国総領事館総領事、駐イタリア特命全権大使等を経て、2011 年 10 月に独立行政法人国際交流基金理事長に就任。

「ASIAN ELEVEN」および「JapaFunCup」について

ASIAN ELEVEN は、国際交流基金アジアセンター、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が、東南アジアと日本の間におけるサッカー人材の育成、及びサッカーを通じた人々の相互理解の促進を目的として、2014 年に開始したサッカー交流事業。これまでに、166 人の指導者を日本から派遣し、3,000 人以上の東南アジアの若いサッカー選手に指導を行ってきた。今年、本交流事業の成果発表の場として、東南アジア各国から男子 18 歳以下のメンバーを選抜し、チーム「ASIAN ELEVEN」を結成。デビュー戦として、6 月 22 日（土）、福島県の J ヴェルデジにて国際親善試合「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」を開催予定。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



「響きあうアジア 2019」について (<https://asia2019.jfac.jp/>)

国際交流基金アジアセンターが主催する、日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典。国を超え共に創り上げた舞台芸術や映画から、「ASIAN ELEVEN」国際親善試合、“日本語パートナーズ”のシンポジウムまで、お互いの文化が刺激しあって生まれたイベントで構成される。国際交流基金アジアセンターがこれまで5年にわたり行ってきた相互交流の成果を振り返るとともに、日本と東南アジアとの関係をさらに深めるための起点となることが期待される。なお、「響きあうアジア 2019」は、同年に東南アジアでも展開予定。



国際交流基金アジアセンターについて (<https://jfac.jp/>)

国際交流基金アジアセンターは、2014年4月に国際交流基金内に新設された特別ユニットで、アジアの人々の間に共感や共生の心を育むため、「日本語学習支援」と「芸術・文化」を柱に、様々な分野で双方向の文化交流事業を実施しています。



日本サッカー協会 (JFA) について (<http://www.jfa.jp/>)

日本サッカー協会は「日本代表の強化・組織」「各年代カテゴリーにおける競技会の実施」「選手・指導者・審判員の登録と育成」を行う、日本サッカー界を統括する代表組織。「国際交流・アジア貢献活動」にも力を入れており「サッカーを通じて子どもたちに明るい未来を与え、アジアサッカーの普及・発展につなげる」ことを目指し、46の国と地域が加盟するアジアサッカー連盟 (AFC) のモデル協会として、AFC加盟協会に対するさまざまな支援活動を行っています。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com